

【資料1】

平成23年度 小城市立桜岡小学校 学校評価計画

1 学校教育目標
徳・知・体のバランスの取れた質の高い桜っ子の育成 ― 桜岡「や」「か」「た」づくり ―

総括的な教育目標を、より具体的な児童生徒や教師、学校の「姿」としてイメージする

2 学校経営ビジョン	
(目指す児童像)	<ul style="list-style-type: none"> やさしい子……自他を大切にし、人の役に立つことを行う子 かしこい子……自ら課題を持ち、主体的に学びとる子 たくましい子……強い意志と体力をもち最後までがんばりぬく子
(目指す教師像)	<ul style="list-style-type: none"> 使命感と責任感を持つ教師 子どもを愛し、人間性豊かな教師 確かな指導力のある共に学ぶ教師 信頼される教師
(目指す家庭像)	<ul style="list-style-type: none"> 会話やしつけを大切にせる家庭 学校や地域と共に育てる家庭 向上心を持って共に学ぶ家庭

このうち、特に今年度力を入れるものを絞り込め、絞り込むに当たって、特に、前年度、「何ができて、何ができなかったか」を参考にする

3 本年度の重点目標	4 前年度の成果と課題
<p>① やさしく豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 笑顔であいさつ 読書(目標120冊) 支持的風土づくりと人権教育、UD教育の充実 <p>② 基礎学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 分かる授業の改善と特設タイムの充実 基本的学習習慣の育成 家庭学習の充実 <p>③ たくましい心身の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 外遊びの奨励 自主性を育む指導の工夫 生活のリズムと食生活 <p>④ 安心して楽しく過ごせる学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域との協働体制づくり 子どもの支援体制づくりとケース会議の充実 学びの環境作り、子どもが楽しく活動する出番づくり 安全指導の充実 	<p>① 重点目標については、成果が少しずつ見られるようになってきている。①・「笑顔であいさつ」を目指し、児童による「あいさつ隊」の取り組みを進めてきた。昇降口では毎朝、教師から元気に挨拶をしてきた。また、家庭との連携を図る必要があると考え、PTAも重点活動として、「親子で目指そう朝のあいさつ」運動に取り組んだ。校内での挨拶は向上しつつあるが、地域での挨拶が課題である。読書活動は目標80冊に対して、平均104冊を達成し、読書をする楽しみを感じる児童が増えてきている。また、「いじめ防止」についても学校全体で取り組み、その成果として2年男児の標語が県PTA連合会の推薦賞をいただくことができた。しかし、学級の支持的風土づくりや日ごろの教育相談体制づくりが不十分で課題である。</p> <p>②について、日々指導を工夫し、きめ細やかな指導を心がけてきた。全国学力調査や佐賀県学習状況調査などの結果から、今後の指導に力を入れるところを共通理解し、指導方法の改善に取り組んできた。算数科においては、TT・少人数指導を行い、個々に応じた指導方法の改善充実を行い学力検査等でもよい成果が現れた。また、小城中学区学力向上対策委員会と連携して、学力の向上に向けて取り組んだことは、成果と考えて良い。しかし、筋道を立てて自分で考えることやその考えを伝える力、話を聴く態度は不十分である。</p> <p>また、家庭学習は、保護者と連携した生活カードを活用し、かしこい子プロジェクト作成の「スーパー桜っ子シール」の効果が見られた。</p> <p>③について、昼休みの遊びや運動を奨励し、運動場が一杯になるほどの児童の姿が見られた。来年度も体力の向上を図るため、授業・行事等を工夫して充実を図りたい。自分の考えで進んで行動する力が不十分なのであるため、自主性を育む指導に力を入れていきたい。早く寝ることや友達と遊ぶ時間の確保が難しく、生活のリズムをよくする指導の必要性を感じる。</p> <p>④について、前年度は、年間通して、学校と地域が連携・協力が活発だった。特に、地域の方々に指導していただき、子ども達も大変喜んで活動できた。一昨年の新型インフルエンザの流行で行事等の中止があった分、前年度は保護者や地域の期待も多く参観者が多かった。6年生を送る会や学年懇談等に多くの保護者が参観できたことは良かった。また今後も、学校便りやホームページ等で、学校の取り組みの説明等に努めたい。けがをする児童が多いことから、安全面での管理や指導の必要性を感じる。</p>

重点目標をそれぞれ再掲し、重点目標ごとに、成果や課題を具体的に評価するためには、どのような評価項目や指標を盛り込むべきかを考える

5 総括表				
① やさしく豊かな心の育成				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	● 心の教育	笑顔であいさつ	・進んで、元気に、笑顔であいさつする子を80%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> 毎週月曜日の「あいさつ運動」に自主性を持たせるように工夫する。 教師が率先して、元気なあいさつを行う。 「親子でめざそう! 朝のあいさつ」をPTAと共に具体的に取り組む。
		読書(目標120冊)	<ul style="list-style-type: none"> 教科全般における読解力を身につけるために、各学年に応じた読書指導に力を入れる。 本の貸出冊数を1人あたり年間120冊を目標に上げ、児童の読解力向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 「親子ふれあい読書カード」を推進する。 月ごとの読書テーマの活用を図る。 読書100冊の達成者に「スーパー桜っ子シール」をあげる。 図書館に畳コーナーを作る。

		支持的風土づくりと人権教育、UD教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級の支持的風土を育む。 ・ 人権教育やUD教育の学習を通して、相手を思いやる心を育成する。 ・ 道徳に力を入れ、年1回以上のふれあい道徳を活用して保護者や地域へ公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ エンカウンターなどを活用して、友達づくりや支持的風土づくりに努める。 ・ 共感的児童理解ができるように研修の場を設定する。 ・ UD学習に取り組み、障害者への理解を深める。
--	--	-----------------------	--	--

② 基礎学力の向上

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	● 学力の向上	分かる授業への改善 特設タイムの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5つの改善ポイントを活かした授業の工夫をする。 ・ しっかり考える場を設定する。 ・ 考えを表現し、伝え合う場を工夫する。 ・ 特設タイムの指導の充実を図る。 ・ 算数の重点単元の指導の強化を図る。 ・ 補充学習の場の設定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5つのポイントを意識するカードやチェック表の活用 ・ 自分の考えを書く場をつくる。 ・ 「すいすいタイム」と「桜っ子タイム」の計画見直し。 ・ 重点単元の指導体制の強化を図る。 ・ 週1時間の補充学習の場を作り、個別に支援できる体制をつくる。
		基本的な学習習慣の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 背筋を伸ばし、相手の目を見て、手まぜをしないの「背・目・手」を意識した学習態度を、85%以上の児童が身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「背・目・手」の合言葉を教室に掲示し、姿勢や聴き方の指導に生かす。 ・ ノートの書き方を具体的に指導する。
		家庭学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年×15分を目標に家庭学習を行う習慣を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭学習カードを活用し、目標が4週間達成できた人には、「スーパー桜っ子シール」で称賛する。 ・ 自学ノートのモデルを活用して意欲を持たせる。

③ たくましい心身の育成

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	● 健康・体づくり	外遊びの奨励と体育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎体力づくりを目指す。 ・ 学期に1単元以上、体育の学習カードを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20分休み、昼休みは、外で遊ぶ。 ・ マラソン大会・大縄とび大会の実施。 ・ わくわくタイムでの共遊(異学年交流) ・ 主体的な体育学習のカードの活用を図る。
		自主性を育む指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの考えで作出す委員会活動の充実を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会やクラブなどの活動でアイデアを出し合い、自主的な創造的な活動をさせる。 ・ 子どもの出番をつくり、認め、励ますようにする。
		生活のリズムと健康教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「早寝早起き朝ごはん」を目指す。 ・ ゲームやテレビの約束を決めるようにする。 ・ 手洗いの指導の充実。 ・ 保健指導重点計画の作成、実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参観で健康な生活についての学習を行い、保護者の協力を得る。 ・ 手洗いの指導計画を作成し、実施する。 ・ 6年間の保健指導計画を作成し、授業参観等で公開し、意識を高める。

④ 安心して楽しく過ごせる学校づくり

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○ 教育環境	保護者や地域との協体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校目標や目指す子ども像「やかた」づくりを理解している保護者の割合を90%以上にする。 ・ 授業参観、学校行事への参加を前年度より向上。 ・ 地域人材を活用した授業の工夫。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ PTA総務会で、学校、学年、学級の取り組み状況を知らせる。 ・ 学校パンフレット、校長室前の掲示板を利用し、周知する。 ・ 合い言葉を活用し、児童の意識を高める。 ・ 学校だよりやPTAだよりを活用する。
		子どもの支援体制づくりとケース会議の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者から相談しやすいと思われる認知度を80%以上にする。 ・ 集団の中で学びにくい子への対応を図る。 ・ 不登校児への対応を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気になることを、家庭と連絡しあうよう努める。 ・ 子どもを支援する校内委員会を充実する。 ・ 見守りたい子の共通理解を図る。(年4回見守りたい子の連絡会と毎月の生徒指導会) ・ 相談体制の充実を図る。 ・ 欠席者報告票による児童の状況把握。 ・ 毎月1回の生活指導会の実施
		学びの環境作りと子どもの出番づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境美化に努め、学習やがんばりのあしあとが見えるようにする。 ・ 羊羹・書を中心として、小城のよさについて、90%以上の児童が説明できるようにする。 ・ 総合的な学習や児童の活動の充実を図り、子どもが楽しめる出番をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境美化をめざし、整理整頓に心がけ、心に響く言葉や興味を持たせる掲示で環境を目指す。 ・ 小城を知る「ふるさとコーナー」をつくる。 ・ 羊羹や小林梧竹などについて調べたり体験したりして学び、郷土に誇りを持たせる。
	○ 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育実践情報の発信・PR 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各担当や担任がプリント等で情報発信(月1回以上)。 ・ 校内掲示板で、児童の学習の足跡などを紹介する。 ・ 学校、学年等のホームページの更新。 ・ 学校紹介パンフレットの配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校、保健、図書館、算数(指導方法改善)、学年、学級便りの計画的な発行。 ・ 民生委員会等における学校情報紹介。 ・ ホームページの充実

○ 危機管理	安全指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルの作成と共通理解 ・安全指導計画や安全点検方法の見直し ・安全の日の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルを生かした役割分担。 ・交通安全、不審者対応、火災訓練の計画的実施。 ・安全点検と安全指導実施(毎月1回) ・セーフティーネット会議やPTAとの連携を図る。
--------	---------	--	---

本年年度の重点目標の評価項目として含まれていない共通評価項目がある場合に記入する。

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
特定課題	● 小学校低学年の学習環境の改善充実	・基本的な学習習慣・生活習慣の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活や学習の習慣作りを身につける。 ・算数を中心としたTT指導で一人一人の学力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の定期的な授業公開、保護者アンケートの実施と分析及び検討。 ・校っ子タイムの継続的・効果的取組の実施。 ・学級間、学年間の連携を生かした指導及び協力体制の工夫。

●は共通評価項目、○は独自評価項目